

2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [星槎国際高等学校] 担当教諭名 [吉田 真由美・尾崎 修一] (1~3年 10名)

相手国・地域 [スリランカ]

海外学校名 [Ananda College] 担当教諭名 [Anju C. Hewage]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	異文化理解	アートマイルプロジェクト	36

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Peaceful Town
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	みんなが平和に暮らせる街を横浜とスリランカでつながる海を舞台に描いた。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 国際交流をする機会に恵まれて、普段はおとなしい生徒が積極的に関わることができた。 作品完成に向けて、協力して取り組むことの大切さを学んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いの学校の活動時間にもよるが、TV会議での交流が少なかった。 交流の際のコミュニケーション能力(英語力)を向上させる必要性を感じた。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 生徒たちにとってなじみの薄い国ではあったが、活動が続けていく中で、相手を尊敬する気持ちがうまれた。 	<ul style="list-style-type: none"> 壁画完成のみならず、食文化や歴史等を一緒に調べ学んでいく過程において、国際交流の意義を再確認できた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 夏休みの思い出 相手から送られてきたスリランカ紹介ムービーを鑑賞 	夏の思い出についてレポートに取り組んだが、何も知らない相手にどう伝えていいかわからず、作成に時間を要した。	異文化理解 6
共有 テーマ学習	10月	<ul style="list-style-type: none"> スカイプ会議（日本のスポーツ、スポーツ選手、学校の体育祭の紹介） 日本の観光地を紹介 	はじめは写真を撮られることにも抵抗を感じていたが、スカイプを通して相手の存在を確認してからは、自分たちから情報を発信しようと動き出すことができた。	異文化理解 6
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	<ul style="list-style-type: none"> 多文化共生のテーマ話し合い 	生徒一人ひとりが自分の意見を発言できるようになった。	異文化理解 3
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> 相手から送られてきたスリランカの文化歴史ムービーを鑑賞 構図の話し合い 壁画制作 	相手の絵のうまさに感嘆するとともにプレッシャーを感じていた。構図についてはイメージはあったものの絵にすることに苦労していたが、自分たちの興味のあるものを取り入れたことによってモチベーションをあげていった。	異文化理解 18
評価 振り返り 自己評価	3月	<ul style="list-style-type: none"> 完成した壁画の鑑賞と振り返り 校内の成果発表会で今までの活動を報告（壁画披露） 	相手の完成度の高さ、また相手が自国文化を深く理解し絵に取り入れていたところを見て、自分たちの自国に対する意識の低さについても気づくことができた。スカイプ会議やテーマ学習など初めての取り組みを通して自分たちが成長したことを実感した。	異文化理解 3

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	一人ひとりが興味のある事柄について調べた後、互いに楽しみながら情報共有をすることができた。
異文化を理解する力	4	スリランカの珍しい食文化や観光地などに興味を持ち自ら調べていた。
情報活用能力 （収集・まとめ・発信）	5	写真や映像を使って、お互いの文化を紹介することができた。
コミュニケーション力 （双方向・共感・英語）	2	お互いに相手を知ろうと積極的であったが、タイミングがうまくいかなかった。
批判的に思考する力 （客観的・論理的視点）	3	よりよい構図にするために、改善点をあげながら活発に意見交換ができた。
主体的に考え行動する力	3	スケジュールを意識し、その日の目標を決めて行動していた。
他者と協働する力 （学級内・海外の相手）	5	上級生が絵の苦手な子でも参加できるように絵の具の色を準備しておいたり、わからないことはすぐに聞ける関係性になっていた。
想いを言葉や形にする力 （メッセージ作成・壁画制作）	4	テーマを絵に表すことは難しかったが、相手が半分の絵から想いを汲み取って完成させてくれたことにより、とても素晴らしい作品になった。
評価する力 （作品の鑑賞・学習の自己評価）	4	3月の成果発表会で活動報告と壁画を披露することができ、全校生徒と保護者にいままでの取り組みを伝えることができた。